

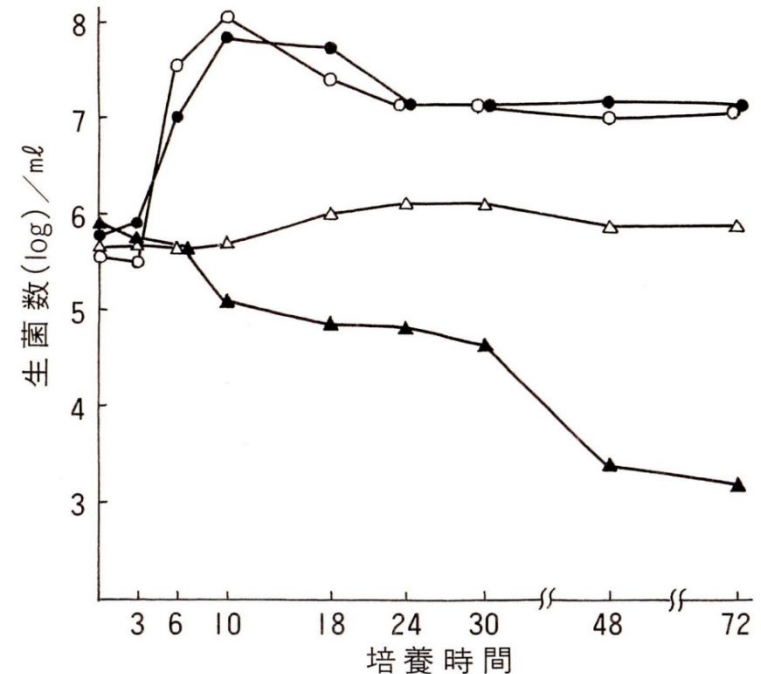
➤ カビに対する発育抑制

正常な宿主防御機能のバランスが崩れた場合に感染を起こすカンジダ アルビカンスの増殖を連続流動培養により、抑制するか調べてみました。

それぞれの菌数が約 10^6 /mLになるように接種しました。

図に示すように、BN菌はカンジダ アルビカンスの影響は受けませんでした。カンジダ アルビカンスカンジダ アルビカンスはBN菌との混合培養において、菌数が顕著に低下しました。

◎ カビによる下痢予防の対策の一つとして、使用が可能です



単独培養

○—○ *Bacillus natto* BN

△—△ *Candida albicans* RIMD0301011 (臨床分離株)

混合培養

●—● *Bacillus natto* BN

▲—▲ *Candida albicans* RIMD0301011 (臨床分離株)

枯草菌溶液の昨年使用者のレポート (以下は使用された方の感想です。) 《カンジダ抑制は病気予防に密接に関係しています。》

2023年1月収集

栽培品目 南瓜

- ・一昨年より使用しているが、うどん粉病によく効き、病害がかなり抑えられた。

栽培品目 トマト

- ・葉カビ、灰カビ病の発生が抑えられた。株元灌水に定期的に使う事で、生理障害の発生も起きなかった。
- ・春先から使用して、夏場、秋にかけて使用して、全般的に病気の発生は抑えられた。予防にはつながっていると思う。

栽培品目 きゅうり

- ・効果はあると思う。病害発生は抑えられていた。

栽培品目 ねぎ

- ・さび病などの発生は抑えられた。
- ・夏場の軟腐病に対しては予防も含めて、希釈は濃い目で週一以上の散布が必要だった。

発売元：カイゼン・ラボ株式会社

連絡先：090-7625-2658

e-mail；shimizu@kaizen-co.com